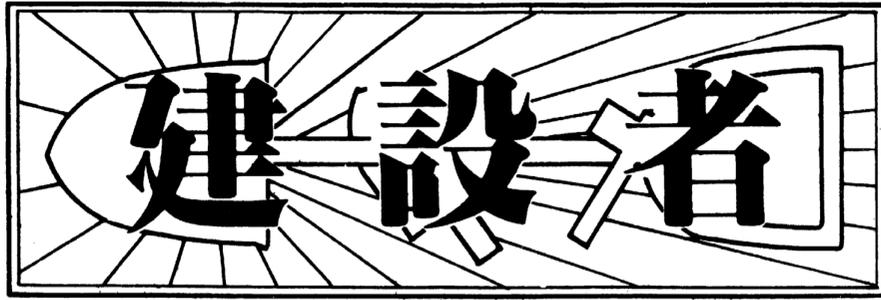


今月の葛飾組織現勢

2024年7月1日	4,133人
加 入	33人
転 入	1人
脱 退	65人
転 出	3人
2024年8月1日現在	4,099人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電 話 (5698) 1 2 6 1
 F A X (5698) 1 2 6 2
 発行人 関 根 伸 正

来年度土建国保への予算要求運動始まる

夏の予算要求集会 約2000人が参加



予算要求集会でプラカードを掲げる参加者

【山澤書記】毎年、夏と冬に開催している来年度の土建国保への予算要求集会。今年の夏は、雨降りしきるなか、7月12日（金）に開催。午前は、都費補助確保のために都庁にて要請行動、午後は国庫補助確保のために日比谷野外音楽堂へ全国から仲間が集まり集会を開催しました。午後の会場への参加者は総勢1951名・45都道府県の仲間が駆け付け葛飾支部では、総勢27名が参加しました。

今回の要請行動では、土建国保の補助金の現行水準確保とアスベスト救済に向けた基金制度の拡充・インボイス制度の廃止と、東京土建をはじめ全国の仲間を取り組んだ100万人国会請願署名で実を結んだ、改正担い手3法の処遇待遇の具体化の訴え、そしてその要請行動をしました。今回は、熱中症予防でデモ行進は行われませんでした。が、集会で皆の意識を共有し団結のコールで解散となりました。

亀有中学校の職場体験 建設業への興味につながる取り組み



組上げたやぐらの前で記念撮影

組上げたやぐらの前で記念撮影。手刻み、3日目に実際に組み上げて上棟と銅板で表札づくりを行いました。体験を終えた中学生たちの感想からは、「難しかったが楽しかった」という言葉が多々ありました。取り組み姿を見ても一生懸命に集中し

【技術対策担当 高橋書記】亀有中学校から授業の一環として行われる職場体験の依頼がありました。その要請を受け、7月3日から5日の3日間にわたり亀有中学校の5人の生徒の職場体験を受入れ、建築大工の体験授業を行いました。

講師には、亀有分会の分会長の筒井豊さんとカレッジ卒業生の筒井領介さん、昨年に引き続きの取り組みとなりました。体験内容は建築大工の仕事の一環で、1日目には木に墨付けを行い、2日目にノコギリやノミを使って



集まった厚労省宛要請ハガキ

厚労省宛7743枚集まる

多くの組合員、家族みなさんにご協力いただき取り組んでいる来年度の建設国保補助金獲得の運動ハガキ要請行動。6・7月に取り組んだ厚生労働省宛ハガキは、みなさんの協力で7743枚集まり、提出することができました。ご協力ありがとうございました。

【今後のハガキ要請行動】ハガキシート組織人員分を目標に取り組みを進めます。このハガキ要請行動は、私たちの建設国保を守るうえで必要な取り組みとなります。より多くの組合員や家族のみなさんの力で建設国保補助金現行水準確保の取り組みハガキ要請行動を進めていきましょう。ご協力お願いいたします。

・東京都宛ハガキ要請
8～9月の取り組み
・財務省宛ハガキ要請
10～11月の取り組み

議員要請行動

また、このハガキ要請行動に合わせて、7月23日（火）、糸賀社保対部長と書記長、担当書記の3人が組合を代表して、平沢衆議院議員および葛飾区選出の4人の都議会議員への来年度土建国保補助金確保に向けた予算要求行動を行いました。

【今後のハガキ要請行動】ハガキシート組織人員分を目標に取り組みを進めます。このハガキ要請行動は、私たちの建設国保を守るうえで必要な取り組みとなります。より多くの組合員や家族のみなさんの力で建設国保補助金現行水準確保の取り組みハガキ要請行動を進めていきましょう。ご協力お願いいたします。

熱中症注意

水分補給と休憩を

今年、昨年を超える酷暑で、葛飾区でも40度以上になる気温が連日続いています。命に係わる暑さです。熱中症リスクも上がり、対策を十分に行うことが求められています。こまめな水分補給と休憩で、熱中症にならないように気をつけましょう。



寅さん

今年の夏はパリオリンピックの開催で、日本選手がその舞台で大きな活躍を見せている。時差の関係もあり、寝不足の方も多くいたのではないだろうか。日本に元気を与え、明るくしてくれる選手のみなさんの活躍には感謝したい。ルールがあるスポーツで競い合う平和の祭典の一方で、ルールとは無縁と思わざるを得ない終わりの見えない戦争の報道があるのも現実である。ここ日本においては8月は、広島と長崎に原爆の投下された日、終戦記念日があり、この8月を中心に平和への誓いを確認している。しっかりと記憶に残し、次の世代へとつないでいかなければならない日である。

また、私たちがめぐる環境ではこの夏の酷暑は対策を求められる大きな問題である。連日最高気温35度を超えることが当たり前になっているのが、恐ろしく感じるところだ。現場で働くものにとって、命の問題に直結している。組合活動において8月は、自治体交渉、各会派懇談など、葛飾区における建設業の処遇改善に向けた取り組みを進めながら、いよいよ始まる秋の拡大月間に向けた加入促進の種まき期間にもあたります。自治体交渉など処遇改善の運動は、数は力であることを踏まえると、組織拡大運動とも連動させる。今から未加入の現場の仲間を声をかけ、秋の拡大月間に向けた取り組みを進めよう。

平和共同取材で満蒙開拓を知る

帰国も偏見差別の扱い



村越義一さん

【たつみ分會教宣部 村越義一】7月14日けんせつプラザ東京にて2024年平和共同取材(第2回教宣部会)が行われました。各支部の教宣部長、部員合わせて46名の出席でした。



満州国の開拓の写真

午前中は長野県にある満蒙開拓平和記念館の全面協力の下、提供していただいた映像資料を見て、記念館を視察した専任常任の吉川さんの報告を受けました。日清、日露戦争勝利の勢いで中国東北部に満州国を擁立し、この土地を開拓するため、各都道府県か

ら27万人もの農民が満州に渡りました。お国の為という風習もあり、自治体の長や学校の先生も農家の家を説得したところもあったようです。一番多かったのは長野県で、3万7千人でした。

午後からは、記念館の事務局長の三沢さんに「満蒙開拓という歴史が語りかけてくるもの」として講話を聞きまし

か逃避行といつか地獄絵図の日々を送ることになります。ある開拓団は大きな石で頭を殴り合

は日本に帰れませんでした。終戦時在団していた22万人のうち8万人が死亡したそうです。家族の安全や自分の身を守るため現地中国の家庭に入り、日本に帰らない残留孤児、残留夫人となる人達も沢山いました。

共済推進学習会を開催

組合員であるからの魅力的な制度を学ぶ



30人の参加者が集まった学習会

【厚生文化担当 石井書記】7月25日(木)厚生文化部主催の共済推進学習会を支部会館3階にて行いました。厚生文化部員を含む30人が参加し、各講師を招いて各種共済、保険制度について学習会を行いました。

【社会保障対策担当 小野書記】7月28日(日)にテックプラザかつしかで支部集団健診を実施しました。



アンケート活動 日高貴対部長(左)

集団健診 貸対アンケート活動実施

ご協力ありがとうございます。アンケートの結果は大手企業交渉や、現場・事業所訪問行動に活かしていきます。

保健指導21人

また、支部集団健診から健診と特定保健指導を同じ会場で行いました。会場で、保健師と面談をし、一定期間電話やメール等で、生活習慣の改善を目指します。特定保健指導対象者で初回面談を受けた

公式LINE登録しよう



方にクオカード3000円を国保組合からお渡ししています。長く健康で働くためには早期発見・早期治療が大切です。なかまの健康を守るためにも未受診者方へ声掛けをお願いします。今回の健診の受診者は170名、特定保健指導は21名でした。次回の支部集団健診は11月10日にテックプラザかつしかで行います。受付開始は9月12日から予定しています。詳しくは支部迄お問い合わせ下さい。

なご、どけんの組合員ならではの内容に関心が高まりました。

③林保険事務所林様から、個人賠償もついた2種類の型(個人・家族)がある自転車保険について、実例を踏まえて各組合員から質問が多く寄せられ、非常に参考になったとの声が多くありました。

濟会山岸様からどけん共済の取り扱う火災・地震共済について安い掛金でかけられる魅力や給付の実例や給付対象がどの範囲までなのか、より踏み込んだ内容で説明をいただきました。

これらの制度は、組合員であるからこそ安い掛金で保障を受けられる魅力的な制度になっています。そういった制度や共済を身近に感じてもらえるよう今回学習会を開催し大きな反響が呼びました。組合員・家族の日常を守る為にも各種共済・保険制度の見直しをご検討いただき、興味を持った方は是非葛飾支部までご連絡ください。